24
佐賀県

経営改善　売上拡大

事業継続の危機 ぼたん油商品開発で 売上向上、黒字化へ

有限会社忠兼総本社

代表者：代表取締役　百田　忠兼
住所：〒849-0917　佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2339-6
電話番号：(0952) 32-6905

新商品ぼたん油が好評の動物油専門店

平成元年創業。馬油を中心に動物性油脂の委託精製やOEM、PBなどの化粧品を製造。平成27年に数千万円の融資を受けて生産設備の総入れ替えを実施したが、2年以上、機械の不具合が続き、取引先が他社に乗り換えてしまう事態に。売上が激減し、運転資金も尽きそうになり、平成30年4月、当拠点を訪れた。このままでは事業継続が難しい状況だった。

事業継続の危機
機械の不具合で品質が悪化

→ **取引先が離れ、売上減少**
資金繰りが悪化
OEM・PB依存も課題

→ **資金繰りの改善と新商品開発**
追加融資で資金繰り安定
イノシシ油商品開発、発売へ

→ **売上が向上し、黒字化**
新商品が好評

運転資金が喫緊の課題

- ✕ 刷新した生産設備が不具合。2年以上、品質不良が続く
- ✕ 取引先が他社に乗り換え、売上激減。赤字が続く
- ✕ 運転資金が枯渇。事業継続の危機

→ **追加融資で資金繰り安定**
メインバンクとの交渉に必要な借入金返済条件変更書と、資金繰り表の作成について助言・支援した。経理も税理士頼みではなく、相談者も関与する方法に改めた。

→ ✓ 交渉の末、運転資金の追加融資を受けることができ、資金繰りが安定した。相談者は経理・財務スキルを伸ばし、経営者として成長した。

収益の柱となる自社商品の必要性

- ○ 動物性油脂の良さを熟知
- ○ 肌の健康を考えた化粧品を製造
- ✕ 馬油商品は大手の独占状態、原料も高騰
- ✕ OEM・PBに依存したビジネスモデル

→ **イノシシ油の商品化を支援**
経営安定化のため、馬油以外の自社商品を開発し、OEM・PB主体の事業から脱却する必要があると判断。そこでイノシシの脂を精油したところ、成分が馬油より優れていることが判明し、商品化を後押し。ネーミングやパッケージ、ウェブ戦略など、販売促進を全面的に支援した。

→ ✓ イノシシ油の新商品は「ぼたん油」とネーミングを提案、売れ行き好調で黒字に転換し、同社の売上の柱に育ちつつある。原料は、有害鳥獣の駆除後のイノシシを有効活用しており、佐賀県のビジネスプランコンテストで優秀賞も受賞、地域への貢献性も注目されている。

支援のポイント

収益力向上をはかる目的で、OEM・PB製品主体から自社商品販売へと事業形態転換を進めた。経理・財務についても、日々の記帳を相談者自らが行うことを提案するなど、相談者の経営者としての成長にも心掛けた。

相談者の声

拠点は、あたかも顧問契約先のように、あらゆる場面で支援してもらい、心強い存在。おかげで最悪の状態を脱し、収益企業への道筋が見えてきた。

支援成果と今後の展望

「ぼたん油」の開発に成功。売上5倍に 種類を増やし自社商品主体の事業形態へ

追加融資を受け、新たにイノシシ油商品を開発。自社商品の売上規模が馬油製品販売のみの時（平成29年度）と比較し5倍に増加。令和元年6月には工場直営店もオープンした。今後は、動物油脂性化粧品メーカーとして、鹿油やエミュー油など種類を増やし、自社商品の強化を計画。OEM・PB主体の事業形態から脱却する。

工場直営店の外観

相談者の百田氏